



過去2番目の規模の大型予算を可決



▲(仮称)中央こども園
開園予定地である
横須賀市職員厚生会館

ポートマーケットの駐車場に新設予定だった中央こども園は、職員厚生会館をリノベーションし整備するとの方針が示されました。

(仮称)中央こども園
開園予定地が決定



1月臨時議会

1月31日に臨時議会を開催し、1月11日に逝去された故木下憲司議員に対し黙祷を捧げました。その後、議長の選挙を投票により行った結果、田辺昭人議員を議長に選任しました。

3月定例議会

平成31年3月定例議会を2月18日から3月27日までの38日間で開催し、主に平成31年度予算について審議しました。事務事業等の総点検、行政改革プランの増進、国や県からの財源確保を行い、平成31年度一般会計予算額は1665億7千万円で、前年度より111億3千万円増え、過去2番目の規模となっています。

本会議では、市長に対し各会派からの代表質問と、無党派議員2名による個人質問を行いました。その後4つの予算決算常任委員会分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。

予算審議では、以前より立地場所が二転、三転していた(仮称)中央こども園を、職員厚生会館の改修により整備する提案について多く質疑がありました。予算案については、2名の議員から反対討論がありましたが、賛成多数で可決し、その他の提出された議案もすべて可決しました。

また、FM戦略プラン審査特別委員長より最終審査報告があり、審査を終了しました。(4面に関連記事を記載)

3月定例議会 代表質問

井口一彦 議員 自由民主党

激しい変化の時代に横須賀復活を!

問 多くの自治体でキャッシュレスの推進に取り組んでいる中、本市でも「キャッシュレスよこすか」を宣言し、具体的な取り組みに入るべきではないか。

答 公共施設の使用料などのキャッシュレス化について積極的に検討したい。

問 浦賀奉行所開設30周年記念事業において、

問 インバウンドの増加に対応するため、N-TT横須賀研究開発センターと協力して、本市の観光施設案内板等に「かざして案内」のようなICT技術を導入する必要があるのではないか。

答 N-TT横須賀研究開発センターと連携を図りながら、ぜひ活用を検討していきたい。

問 一般の方と障害のある方が一緒にスポーツができるまちづくりについて、市長の考えを伺う。

答 ぜひ実現したい。小児がんにより骨髄移植などで免疫が失われた患者に対する再ワークを導入すべきではないか。

答 今後、課題などを整理して、国の動向や先行実施している自治体を参考に検討したい。

問 市民が積極的に協力していただけるような狭あい道路対策を進めるべきではないか。

答 狭あい道路拡幅整備事業の助成制度を活用していただける方策を検討していく。

問 横須賀再興プランに書かれている音楽・エンターテインメントの場として活用する既存施設や新たな拠点とはどのような場所を想定しているのか。

答 さまざまな場所を検討しているが、新しい客層の獲得に向けて、発信力の強化、想像を超えた魅力を発揮できるようなムーブメントをぜひ起こしたい。

問 横須賀新港の新規フェリー定期航路の就航について、市長の意気込みを伺う。

答 これを機に横須賀市に滞在していただけるような魅力ある施策を展開していかなければならないと決意を固めている。市を挙げて、新しい横須賀市を切り開いていきたい。

問 横須賀市歌の歌詞に登場する市内の名所をテーマにした観光事業に取り組んでどうか。

答 京浜急行電鉄と連携して実施しているウォークイベントを横須賀市歌のストーリー性を持たせて開催するなど、観光事業での活用について検討したい。

鈴木真智子 議員 公明党

すべての人が輝く共生社会に向けて!

問 うわまち病院跡地の活性化策について、地域住民を交えた協議会を立ち上げ、検討の流れを見える化することが重要と思うが。

答 跡地利用については、歴史専門誌やメディアとタイアップした企画を検討している。

問 プレミアム付商品券の円滑な発行と実施に向けた購入対象者への周知方法は。

答 周知については、広報よこすかやホームページ

【1面からの続き】

支援につながると思う。助成制度については、今後検討していきたい。

【問】さまざまな人が集い合える多世代交流拠点となるような、例えばみんなの食堂を地域につくっていくような取り組みを推進していただきたいが。

【答】既に地域福祉の担い手である地区社会福祉協議会が中心となって地域住民と取り組みを行って

【問】特にがん患者の社会的自立を支援するために、医療用かつらに対する助成制度を創設すべき。

【答】精神的負担を軽減することは、患者の社会的

永井 真人 議員

無所属みらい

【問】総合相談窓口設置に向けた具体的な検討内容及びスケジュールは。

【答】従来の相談窓口では対応できない相談について、世帯ごとに丸ごと受けとめる体制づくりを

【問】地域福祉を担う社会福祉協議会事務局職員と

【問】災害時の備蓄品として、液体ミルクを検討すべきでは。

【答】液体ミルクについては、流通が始まり、日常的に使われるようになった際には備蓄品目に加えたい。

【問】中央公園を歴史・文化・平和をコンセプトに再整備すべきでは。

【答】将来的に中央公園をリニューアルする際にはぜひ検討していきたい。



中央公園

【問】市福祉部との人事交流を

【答】社会福祉協議会と市はパートナーであり、より連携を図ることが求めら

【問】放課後児童健全育成事業（学童クラブ）補助金交付要綱を守らず補助金を受けている事業者が

高橋 英昭 議員 研政

待機児童の解消や市民に使われる公園づくりを

【問】幼児教育・保育の段階的無償化はよいが、その前に待機児童ゼロを達成すべきでは。

【答】この4月に待機児童ゼロを達成することは難しい。1人でも多くの児童が入園できるように、今後も利用調整を行っていく。

【問】学童クラブの利用料の低減のため、早急に全児童対策と学童クラブを一体的に運営することを検討するべきだ。

【答】一体的な運営については必要だと考えているので、将来的には実施していきたい。

【問】公共施設の受益者負担は必要だと考えるが、その前に、施設の備品等の整備が必要では。

【答】備品の老朽化などは承知しており、プラスの予算を計上した。必要な整備は行っていく。

【問】障害者雇用率を達成できていないが、来年度

【答】エールを送っていたのだと思うので、一生懸命頑張りたい。

【問】残念ながら達成できない。様々な対策を講じて一刻も早く達成したい。

【問】使用目的に合わせ機能に特化した街区公園づくりをワークショップ形式で市民とつくってみてはいかがか。

【答】モデル地区を設定して、ワークショップ形式で検討していきたい。

【問】市の上下水道の料金体系は、基本水量が多過ぎる、大口の顧客に厳しいと、将来的には実施し

【答】基本水量については、引き下げたいと考えている。大口使用者については、確実に原価を回収できる範囲内で増度を緩和することが望ましいとの意見をいただいている。料金体系については、全体的な見直しを

伊藤 順一 議員 市政同友会

町内会・自治会の担い手不足の解消に向けて

【問】本市の町内会・自治会の加入率は高いとはいえず、高齢化や核家族化、加えて無縁社会の影響

【答】町内会・自治会は担い手不足が深刻である。

【問】解消に向けて市職員や市職員OBが町内会・自治会の役員になるために

【答】受講者からは、地域で活動されている方から直接話を聞くことができて、本当に為になったなどの意見が多くあり、地域活動の重要性に対する理解が深まるきっかけとして効果があつたと考えている。

【問】今後は地域団体の関わりを考える機会や職員個人の地域活動参加へのきっかけとなるような研

【答】提案も含め、これらいろいろ検討していきたい。

大村 洋子 議員 日本共産党

市民本位の生保、国保制度と水道民営化

【問】生活保護制度が利用しやすい環境は整っているか。

【答】ご案内を毎月広報紙に掲載し、相談カウンターを大幅に増やした。

【問】生活保護は市民の権利か。

【問】修内容を検討していきたい、より充実させていきたい。

【問】地域活動に参加した市職員に対する特別休暇制度等の構築を検討すべきであると考えているがどうか。

【答】市の職員が自発的にさまざまな地域活動に参加し、地域社会に貢献することはとても重要であると感じているので、特別休暇制度についても検討していく。

【問】まず職員の意識調査を行い、その次に講習会において長く町内会の役員を経験したことがある市職員が講師としてこれまでの経験を話す方がより実効性がある政策になると考えるがどうか。

【答】提案も含め、これらいろいろ検討していきたい。

【問】国民健康保険料の滞納が続く世帯への医療負担を事実上10割にする資格証の発行はただちに中止するべきだ。

【答】急病で入院するなど医療費に苦慮している場合は、経済状況に見合った額の納付と今後の継続

【問】納付をお約束いただき、短期保険証に切りかえるなど柔軟に対応する。

【問】水道はライフラインとして市民生活を支える不可欠な都市基盤なので、自治体が公営企業としてしっかり運営する必要がある。コンセッション

3月定例議会 個人質問

小室 卓重 議員 無会派

子どもの育ちを支えるまちづくりを

【問】児童虐待防止について優先順位を上げて取り組むべきでは。

【問】行政が当然取り組むものであり、優先順位という選択の余地はない。

【問】さまざまな機会や媒体を利用し、出産前からの愛らんの利用を周知すべきでは。

【答】母子手帳交付時などでも周知していく。

【問】（仮称）中央子ども園に移転する愛らんどよこ

【問】方式を導入し、民間主導による事業運営を行う考えはない。

【問】ルートミュージアム事業に平和教育の観点を取り入れてはどうか。

【答】近代横須賀の歴史を正確に伝えていくことが、本市の責務。平和へのメッセージを込めた看板やプレートを検討していきたい。

【問】すかに飲食スペースを設けるべきでは。

【問】他の愛らんどについても、ニーズに基づき検討すべきでは。

【答】当然のこと。機を見てやる。

【問】地域福祉計画に子育て・子育てについても盛り込むべきでは。

【答】パブリック・コメントでも同様の意見があり、追加した。

山本けんじゅ 議員 無会派

スポーツによる地域のまちづくり

【問】横須賀スタジアムのスタンドに車椅子席が用意されているが、実際、車椅子で上がるには階段を使うしかない。ベイスターズからも要望があると思うが、バリアフリー化して、ぜひ車椅子の方にも見ていただける環境づくりをお願いしたい。

【答】来年度には階段昇降機の設置を予定している。

【問】横須賀には世界的な柔道家を輩出した道場が今でもある。こういった歴史や伝統、ルーツというものを大事にしたスポーツ大会誘致を行ってほしい。

【答】有名な猪熊先生に段取りをつけていただきぜひルーツがあるのので、ぜひ検討していきたい。

予算決算常任委員会

平成31年度予算の使い道を審査

今定例議会では、横須賀再興プランに掲げる誰も一人にさせないまちの実現に資する将来への投資とするための平成31年度予算案等について、各分科会で詳細な審査を行いました。プレミアム付商品券を円滑に発行するための職員体制、横須賀市観光協会及び各地区観光協会に係る組織体制のあり方、横須賀市の各地域の実態を考慮した交通安全啓発事業立案の必要性、三浦半島メディカルコントロールにおける消防局と医療機

関の連携状況、障害者相談サポートセンターを1カ所新設することとした背景及び基幹相談支援センターの役割を明確化することの重要性、長時間勤務等による教職員の休職を防ぐための意識改革の重要性、横浜DeNAベイスターズ及び横浜F・マリノス練習場の整備に合わせ地域の活性化に向けた屋外広告物規制緩和を行う必要性、横須賀港新規フェリー航路開設に係る施設整備における今後のポートセールスを考

生活環境常任委員会(分科会)

市民生活に関連する次年度予算案を審査

平成31年度一般会計予算の審査では、地域の実態を考慮した交通安全啓発事業立案の必要性、通学路にある危険ブロック塀撤去を行う政が徹底する必要性、A-を活用したコールセンター事業検討の必要性、大津行政センター予備駐車場の整備内容と整備理由、住民票等のコンビニ交付サービス導入の費用対効果、地域生活相談における個人情報に配慮した相談体制構築の必要性、小動物火葬業務の廃止を含めた見直しの必要性、公衆トイレの維持管理を民間事業者に委託する事例研究の必要性、横須

賀ごみ処理施設余剰電力売却収入の見込み、三浦半島メディカルコントロールにおける消防局と医療機関の連携状況、消防庁舎の空調機器等の適正管理により長寿命化を図る必要性などについて質疑が交わされました。

上下水道事業会計予算の審査では、お客様料金サービスセンターの継続の意義と費用対効果、鉛給水管取替工事補助を拡充した理由と給水管に対する考え方、下水道建設改良費の増加理由、不明水の共同研究の概要などについて質疑がありました。

また、部局間にまたがる質疑では、各部局における施設の管理に対する考え方、施設の長寿命化及び管理費削減に対する取り組みと課題について質疑が行われました。

また、部局間にまたがる質疑では、各部局における施設の管理に対する考え方、施設の長寿命化及び管理費削減に対する取り組みと課題について質疑が行われました。



小動物火葬施設(公郷町)

(委員長 本石篤志)

慮した事業推進の必要性などを中心に活発な質疑が交わされました。そして、3月25日に開催された予算決算常任委員会にて、「幼児教育・保育無償化」に向け、保育士確保の待遇改善と併せて小規模保育・家庭的保育・企業内保育等の様々な手法も検討することにより、待機児童ゼロに目途が付くことを期待して平成31年度予算案に賛成する。旨の討論があり、平成31年度横須賀市一般会計予算とその他議案26件は原案どおり可決すべきものと決定しました。(委員長 鈴木真智子)

総務常任委員会(分科会)

プレミアム付商品券事業の予算に多くの質疑

平成30年度補正予算案の審査では、消費税増税に係るプレミアム付商品券事業について多くの質疑がありました。

平成31年度予算の審査では、基本構想・基本計画の策定に向けた議会との連携の必要性、プレミアム付商品券の業務を予定職員数のみで円滑に実施できる見込み、集客プロモーション事業における各

常任委員会の審査から

教育福祉常任委員会(分科会)

うわまち病院の移転建て替え先が神明公園へ

平成31年度予算案の審査では、障害者相談サポートセンターを1カ所新設することとした背景及び基幹相談支援センターの役割を明確化することの重要性、医薬品回収バッグによる医療費削減の効果及び回収薬剤の活用割合、中央斎場の利用者に対して残骨灰売却の開始及びその売却益の充当先等を周知する必要性、集団フッ化物洗口を実施している保育園の保護者から出された意見の内容、処遇改善加算以外で経費をかけずに保育士の満足度を向上させる方策検討の必要性、新生児聴覚検査の実施を7月からとした理由及び対象者への周知方法、長時間勤務等による教職員の休職を防ぐための意識改革の重要性、美術館運営評価委員会における評価内容及び経営的な観点も含めた評価の必要性、市

民病院における入院及び外来診療単価の今後の見通しなどの質疑が交わされました。



うわまち病院の移転建て替え先となる神明公園

また、横須賀市が対策推進計画策定委員会条例制定に係る審査では、公募による市民委員に係る選定条件の有無及び選定における慎重な人選の必要性について質疑が交わされました。

一般報告では、うわまち病院の移転先を神明公園に決定した旨の報告などがあり、同病院移転後の上町地区の包括的な地域振興対策の検討状況、新設病院における災害対策などについて多くの質問がありました。(委員長 西郷宗範)

都市整備常任委員会(分科会)

魅力度を向上させるまちづくりについて質疑

3月定例議会では、主に平成31年度一般会計予算について審査を行い、本市の魅力向上させる施策について多くの質疑を行いました。DeNAベイスターズやマリノスの練習場の整備を伴う施策では久里浜西口栄通りで実施する交通安全施設整備事業で他部局と連携し全体計画を構成する必要性や地域の活性化に向けた屋外広告物規制緩和を求めました。

港湾を活用する施策では横須賀うみかぜカーニバルを複数会場で開催することによる漁港関係者との調整の必要性、新港や久里浜港の岸壁使用料増収に向けた積極的なポートセー

また、谷戸地域再生に向けた芸術家等モニター誘致事業において他部局と連携し市全体で事業を実施する必要性と今後の展開、火災等により市営住宅へ一時入居する時に最低限必要な設備を整備する必要性、スマートフォンチェーン下り線開通に向けた方策の継続的な検討の必要性、浦賀奉行所跡地活用検討事業は浦賀奉行所開設300周年記念事業と連携する必要性、そして長井海の手公園隣接地活用事業では民間事業者の資本や経営力等を活用するためにサウンディング調査を行う中での、宿泊施設誘致の可能性などをさまざまな質疑を行いました。(委員長 渡辺光一)



官民連携で事業検討中の長井海の手公園の隣接地

定しました。請願第1号「核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について」の審査では、意見陳述を聴取し、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。報告事項では、ポートマーケット活用の方針とリニューアルオープンまでのスケジュール、三笠駐車場跡地のホテル事業者決定とその概要のほか、ヤマシンプイルタ(株)の進出によりYRPの産業用地がほぼなくなったこと等が報告されました。(委員長 矢島真知子)



プレミアム付商品券 イメージ(画像はH27のスーパープレミアム商品券)

平成31年3月定例議会 審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, and various political parties (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 研政, 市政同友会, 日本共産党, 無会派).

*その他議案28件については、全会一致で可決または同意の旨回答しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。

【会派所属議員名】

- 自由民主党 大野忠之 渡辺光一 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 (議長)
公明党 板橋 衛 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行
無所属みらい 永井真人 嘉山淳平 矢島真知子 葉山 直 小幡沙央里
研政 伊関功滋 長谷川昇 小林伸行 高橋英昭 角井 基
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤真道 杉田 惺 山口道夫
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

請願

Table with columns for 件名 and 結果. Item: 核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について. Result: 不採択

6月定例議会のお知らせ

Table with columns for 開催日 and 会議名. Dates from 6月7日 to 6月25日.

*時間の記載がないものは10時開会です。
*特別委員会については、日程が追加される場合があります。
*最新の情報は、市議会ホームページか議事課でご確認ください。

編集後記



今回の市議会だよりは、横須賀市の今年度予算などについての審議内容を掲載しました。現在の編集メンバーによる最後の号となりますが、今後もより多くの市民の皆様に関心を持っていただけるよう、読んでくださる方の立場に立ち、より分かりやすく親しみやすい「市議会だより」づくりを追求してまいります。

まちづくりを踏まえた公共施設の未来に向けて

平成30年2月16日の本会議において設置されたFM戦略プラン審査特別委員会は約1年間の審査期間の中で、延べ10回の会議を開きました。平成27年に策定された個別施設の面積削減に重きを置いた施設配置適正化計画を根本から見直し、公共施設の将来のあり方が示されるよう、その策定の方向性について多角的、総合的に審査してまいりました。委員から多くの意見があった中、最終報告をとりまとめ、3月27日の本会議において、「本市の特性を活かしたまちづくりの考え方を踏まえた上で、集約・複合化するなど、柔軟な発想で施設を整備し、市民の利便性を高め、無駄のない公共サービスを提供するよう求める」旨の14の提言を行い、付議事件に対する審査を終了しました。FM戦略プラン審査特別委員長 西郷宗範

政策検討会議で1期4年間の実施計画を策定します

政策検討会議の役割の一つに、1期4年間の実行計画の策定があります。実行計画には、議員の任期4年間で積極かつ計画的に議会全体で取り組むべき課題と、課題ごとの検討スケジュールを定めます。今年度、議員改選後から初めて4年間の計画を策定します。また、計画を策定し条例制定等を行うだけでなく、これまで議会提案で制定した条例に基づく事業の効果等を検証して行く予定です。これからの、議会提案による条例制定から事業実施後の検証までを繰り返し政策形成サイクルを回すことで、議会としての政策形成能力の向上を図り、市民や行政が抱える課題の解決に取り組めます。政策検討会議委員長 板橋 衛